

教科(科目)	理科（物理基礎）	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	新編 物理基礎				
副教材等	新課程 ニューサポート 新編物理基礎（東京書籍）				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①基礎学力の定着と向上により、学ぶ意義を意識して学習する力を育成します。</p> <p>②規律ある学校生活を送る中で、責任ある行動をとる姿勢を育成します。</p> <p>③自己有用感を高めて、主体的に進路選択をする姿勢を育成します。</p> <p>④仲間と協力しながら、積極的に問題を解決する姿勢を育成します。</p> <p>⑤地域の特色やその魅力を理解し、地域の発展に貢献する心を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①少人数授業での協働的な学びやICTの活用により、個を伸ばす授業を展開します。</p> <p>②生徒との対話を重視し、保護者・外部機関等と協力しながら生徒を支援します。</p> <p>③世との主体的な進路選択につながる体験を取り入れた学習を行います。</p> <p>④生徒一人ひとりが自己の役割を自覚し、自己に対する肯定的な評価に気付くことができる行事運営を行います。</p> <p>⑤地域の人的・物的資源を取り入れ、地域と連携したキャリア教育を実施します。</p>

### 2 学習目標

<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>物体の運動と様々なエネルギーに対する興味や関心を高めることを目指します。</li> <li>視聴覚教材を用いて、視覚に訴える授業を行い、科学に対する興味や関心を育てます。</li> <li>探究心、科学的な見方、思考する力を養うため、観察、実験、実習をできるだけ多く実施します。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p>	<p>自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

## 5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の分析</li> <li>観察、実験、グラフでの表現の観察</li> <li>レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認</li> </ul> などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の分析</li> <li>レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認</li> <li>授業中の発言、発表などの観察</li> </ul> などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度や取組の観察</li> <li>レポート、副教材や演習プリント等の提出物の内容・感想の確認</li> <li>授業中の発言、発表などの観察</li> </ul> などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4・5	1 編 物体の運動とエネルギー 1 章 直線運動の世界	10		運動の表し方、変位と速度 等速直線運動、合成速度と相対速度 速度が変わる運動、自由落下運動 鉛直投射、水平投射	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学期中間考査(考査の分析)</li> <li>提出物(記述の点検)</li> <li>授業の取組(記述の確認)</li> <li>授業の取組(行動の確認)</li> </ul>
6・7	1 編 物体の運動とエネルギー 2 章 力と運動の法則	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書</li> <li>副教材</li> <li>演習プリント</li> </ul>	力とつり合い、力の合成と分解 垂直抗力と弾性力、慣性の法則 「運動の変化」と「力」 作用・反作用の法則 動摩擦力とその性質 静止摩擦力とその性質 空気の抵抗力、水圧と浮力	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学期期末考査(考査の分析)</li> <li>提出物(記述の点検)</li> <li>授業の取組(記述の確認)</li> <li>授業の取組(行動の確認)</li> </ul>
8・9	1 編 物体の運動とエネルギー 3 章 力学的エネルギー 2 編 ささまざまな物理現象とエネルギー 1 章 熱	13		仕事、仕事率、運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギーの保存 いろいろな運動でみる力学的エネルギー 温度と熱、と物質 熱の移動と保存、熱と仕事 熱機関と不可逆変化	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 学期中間考査(考査の分析)</li> <li>提出物(記述の点検)</li> <li>授業の取組(記述の確認)</li> <li>授業の取組(行動の確認)</li> </ul>
10・11	2 編 ささまざまな物理現象とエネルギー 2 章 波 2 編 ささまざまな物理現象とエネルギー 3 章 電気	20		いろいろな波、波の表し方、横波と縦波 波の重ね合わせ、定在波、波の反射、音波 弦の固有振動、気柱の固有振動 動いていない電気、動いている電気 電流と電気抵抗、直列接続と並列接続 電力と電力量、電流がつくる磁場 発電機のしくみ、直流と交流、電磁波	a b c	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 学期期末考査(考査の分析)</li> <li>提出物(記述の点検)</li> <li>授業の取組(記述の確認)</li> <li>授業の取組(行動の確認)</li> </ul>

12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	2 編 さまざまな物 理現象とエネルギー 4 章 エネルギーと その利用	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの変換と保存</li> <li>・原子核のエネルギー</li> <li>・放射線の利用と安全性</li> <li>・エネルギーの利用と課題</li> </ul>	a  b  c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期学年末考査 (考査の分析)</li> <li>・提出物 (記述の点検)</li> <li>・授業の取組 (記述の確認)</li> <li>・授業の取組 (行動の確認)</li> </ul>
----------------------------------	-----------------------------------------------	----	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・各考査終了後、副教材・演習プリントの提出があります。
- ・実習を行った際には、レポート提出があります。

## 8 担当者からの一言

テストが苦手とあきらめることなく何度も授業プリントや副教材・演習プリントを繰り返しやれば、物理基礎が理解できるようになります。また、教科書の単語を覚えるだけでなく、周りの自然もよく見て下さい。そこには教科書に載っていたことが現れていることが多くあります。新しい発見に感動する心を忘れなければきっと理科が好きになるはずです。  
(担当：山家 真奈美)

教科(科目)	保健体育 (体育)	単位数	2単位	学年(コース)	3年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①基礎学力の定着と向上により、学ぶ意義を意識して学習する力を育成します。</p> <p>②規律ある学校生活を送る中で、責任ある行動をとる姿勢を育成します。</p> <p>③自己有用感を高めて、主体的に進路選択をする姿勢を育成します。</p> <p>④仲間と協力しながら、積極的に問題を解決する姿勢を育成します。</p> <p>⑤地域の特色やその魅力を理解し、地域の発展に貢献する心を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>①少人数授業での協働的な学びやICTの活用により、個を伸ばす授業を展開します。</p> <p>②生徒との対話を重視し、保護者・外部機関等と協力しながら生徒を支援します。</p> <p>③世との主体的な進路選択につながる体験を取り入れた学習を行います。</p> <p>④生徒一人ひとりが自己の役割を自覚し、自己に対する肯定的な評価に気付くことができる行事運営を行います。</p> <p>⑤地域の人的・物的資源を取り入れ、地域と連携したキャリア教育を実施します。</p>

### 2 学習目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけようとする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前後の移動や着替えを早くし、チャイムスタートを目指します。</li> <li>・頭髪を整えるとともに体操着や靴を正しく着用させ、規律正しくかつ安全に授業に参加する態度を育てます。</li> <li>・大きな声で点呼や体操を行うことを目指します。(号令に合わせて体操、ストレッチができるようになることを目指します。)</li> <li>・トレーニングを毎時間実施し、基礎体力の向上を目指します。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・運動の合理的、計画的な実践に関する具体的事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。</p>	<p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

## 5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種目の技能テストや記録の計測</li> <li>ファイルやワークシート(提出や記入状況等)などから、評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言やグループ活動への取組の観察</li> <li>ファイルやワークシート(振り返りや提出状況等)などから、評価します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言やグループ活動への取組の観察</li> <li>ファイルやワークシート(振り返りや提出状況等)などから、評価します。</li> </ul>
	<p>内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。</p> <p>内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。</p>		

## 6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	授業時間	評価方法
4	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の学習活動について理解する。</li> <li>集団行動がスムーズにできるようにする。</li> </ul>	2	活動への取組
	集団行動	整列、移動、列の増減等			
	体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進や体力の向上を図る。自己の体力や生活に応じた課題を持ち、様々な運動を行う。</li> </ul>	7	ワークシート 活動への取組
5	陸上競技	短距離走 (100m・200m) 中距離走 (800m・1500m) 跳躍 (走り幅跳び) 投てき (砲丸投げ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高める。</li> </ul>	4	記録の計測 活動への取組 ワークシート
6	球技 (ゴール型)	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団的技能 (組織的な攻撃および守備)</li> <li>味方や相手を見ながら状況に応じた攻撃や守備ができるようにする</li> <li>試合での攻撃と守備</li> </ul>	4	技能テスト 活動への取組 ワークシート
	球技 (ネット型)	卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。</li> </ul>		
7	球技 (ゴール型)	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団的技能 (組織的な攻撃および守備)</li> <li>味方や相手を見ながら状況に応じた攻撃や守備ができるようにする</li> <li>試合での攻撃と守備</li> </ul>	6	技能テスト 活動への取組 ワークシート
	球技 (ネット型)	卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。</li> </ul>		

	体育理論（豊かなスポーツライフの設計）	生涯スポーツの見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化にともなうスポーツの役割の変化を理解する。</li> <li>・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を理解する。</li> </ul>	2	評価問題  ワークシート
8 9	球技（ゴール型）  球技（ネット型）	バスケットボール  卓球	<p>集団的技能（組織的な攻撃および守備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・味方や相手を見ながら状況に応じた攻撃や守備ができるようにする</li> </ul> <p>試合での攻撃と守備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。</li> </ul>	9	<p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p> <p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p>
10	陸上競技	長距離走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己に適したペースを維持して、長い距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。</li> </ul>	10	記録の計測 活動への取組 ワークシート
11	球技（ネット型）	バドミントン  バレーボール	<p>試合での攻撃と守備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。</li> </ul> <p>集団的技能（三段攻撃とその防御）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間を作り出すなどの連携した動きができるようにする。</li> </ul>	6	<p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p> <p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p>
12	球技（ネット型）	バドミントン  バレーボール	<p>試合での攻撃と守備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じたラケット操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。</li> </ul> <p>集団的技能（三段攻撃とその防御）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間を作り出すなどの連携した動きができるようにする。</li> </ul>	6	<p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p> <p>技能テスト 活動への取組 ワークシート</p>

	体育理論（豊かなスポーツライフの設計）	ライフスタイルに応じたスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「する」スポーツライフスタイルについて理解する。</li> <li>・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたを理解する。</li> </ul>	2	評価問題  ワークシート
1 2 3	球技（ゴール型） 球技（ネット型）	バスケットボール バレーボール 卓球 バドミントン	試合の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのルール、試合方式、運営の仕方を理解し、協力して試合を行うことができるようにする。</li> </ul>	10	技能テスト 活動への取組 ワークシート
	体育理論（豊かなスポーツライフの設計）	スポーツを推進する取り組み   豊かなスポーツライフの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを理解する。</li> <li>・自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて理解する。</li> <li>・これまでとこれからのスポーツライフの違いを理解する。</li> <li>・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について理解する。</li> </ul>	2	評価問題  ワークシート

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・実施種目によって記録用紙等を提出する場合があります。
- ・各学期ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。

## 8 担当者からの一言

これまでと同様に体育は、単に「足が速い」とか「バスケットボールがうまい」など運動能力や技術の高さだけでは評価は高くなりません。欠席をせず、みんなと協力し、誰にでもできることを一生懸命授業に取り組むことが必要となります。また、「やらなければならないこと」は必ず最後までやってもらいます。妥協せず全力で取り組みましょう。体育の授業を通し、自分の限界に挑戦し、コミュニケーション能力を高め、人間力を高めてもらいたいと思います。また、最上級生として下級生の模範となるような授業になるよう努力してください。

(担当：平野 淳一、橋立 美貴)